



“りそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ！

Study

2021
February
2月

制度〈基本〉

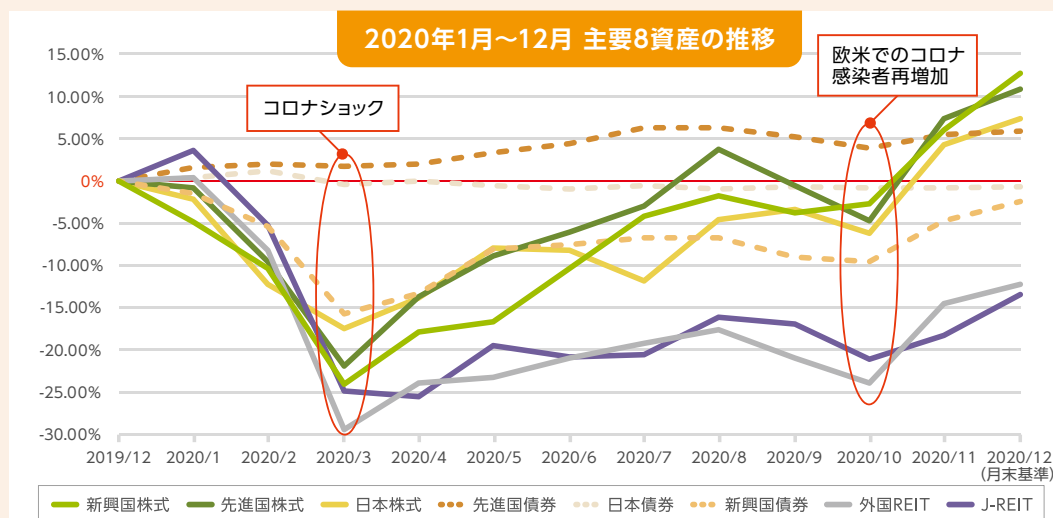
運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

2020年の各資産はどんな動きだった？

2020年は世界的に新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された1年でした。その中で、各資産はどのような値動きだったか、振り返ってみましょう。



コロナの感染拡大に伴い、各資産は上下しましたが、年末にかけて株式が大きく値を戻し高値を更新したことで、りそな銀行ご利用者の1年間の平均利回りは概ね良好でした。

〈1年平均利回り〉

企業型 DC	3.21%
個人型 DC個人型プラン	1.17%
つみたて iDeCoプラン	5.81%

株式

2月後半以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、3月には世界的に株式市場が急落しました。しかしその後は、各国政府や中央銀行による金融・財政政策の発動や、各国の封じ込め策による感染の一服感から、株式市場は上昇に転じました。コロナ感染が収束と拡大を繰り返す中、9月以降は、欧米の感染者数の再増加や世界経済の悪化、11月に米大統領選挙が控えていたこともあり、上値の重い展開となりました。11月以降は、米大統領選挙で民主党バイデン氏の勝利観測が強まったことや、ワクチン実用化の可能性が高まったことで、世界経済の回復期待につながり、未曾有の金融緩和で膨れ上がった資金がリスク市場へ流入し、NYダウなどの最高値更新、日本株式の約30年振りの高値回復となりました。

債券

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、主要国の中央銀行が大規模な金融緩和を行ったことから長期金利が低下し、先進国債券は緩やかな上昇基調となりました。新興国債券は、財政悪化懸念から価格が下落する場面もありましたが、ワクチン開発による景気回復期待から新興国債券市場に資金が流入したことで、年末にかけて長期金利が低下し、上昇基調に転じました。

REIT (リート)

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、企業でテレワークへのシフトが進み、オフィス需要の低迷などによる不動産市況の悪化から、J-REIT、外国REITともに3月に大きく下落しました。その後も米国の成長株などに資金が集まる流れが強まったことがREIT市場には逆風となり、上値の重い展開となりました。

コラム

値下がりした時は、積立投資にとってチャンス

2月～3月にかけて株式やREITが大きく値を下げたことで、不安になられた方が多かったかもしれませんが、市場の指数が下がったということは、運用商品の価額が「安くなった」ということです。確定拠出年金では、掛金で定期的に積立投資をしていますので、価額が安い時は多くの口数を買えています。値下がりした時にもコツコツ買い続けることで、その後値上がりした時に利益を得やすくなります。

加入者サイトに入ってみよう！

りそな銀行確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。

<https://www.resona-tb.co.jp/401k/>



2021年2月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+ [2#]

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

本レターの無断引用・転載はお断りします。

